

第287号

(平成28年1月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp

大阪府市場だより



絵：「まぐろ」磯野 由美（磯丸運送）

年賀交歓会を開催 府市場協会

平成28年を迎え、1月5日の午前9時から、大阪府中央卸売市場協会（理事長・三輪光幸（株）うおいち社長）が主催する年賀交歓会が管理棟7階大会議室で開催された。



三輪理事長 晴久大阪府環境農林水産部長をはじめ、地元

来賓として、石川

茨木市長の本保平氏、衆議院議員の原田憲治氏、府議会議員の松本利明氏・うらべ走馬氏・中野剛氏のほか、市場関係企業役員、団体役員ら100人が出席した。

最初に、府市場協会の三輪理事長が挨拶し、「府市場では、昨年10月の1か月間、阪神百貨店と初めてタイアップし、魚



ご来賓の皆様

食普及月間イベントを開催するなど、産地、量販店、消費者に着実なアピールを行った。11月に開催した市場開放デーには、これまでもまして多数の来場者があり、当市場に寄せる府民の関心の高さ、期待の大きさといったものを感じた。指定管理者の尽力により、民間企業の目線で清潔な市場とするためのセリ場の改修、販促イベントの開催などに大きな成果を収めていただいております、お礼申し上げます。

ともに、今後とも期待している。「本年についても、関係者の皆様方と一丸となつて、なお一層の発展に取り組み、買出人の皆様への期待に応える市場にしていきたい」と述べられた。

続いて、石川・大阪府環境農林水産部長が知事祝辞を代読された。その中で、「指定管理者の管理センター（株）がコスト削減や収入確保に取り組みされるとともに、大学等と連携したイベント開催など、生鮮食料品の消費拡大にも取り組んでこられたことにより、市場の集荷力、販売力の向上に、大きな成果が表れており、お礼申し上げます。今後とも『競争力のある市場』が実現するよう取り組んでいく。一層のご協力をお願いする」と述べられた。



主催者の皆様

次いで、木本茨木市長と原田衆議院議員の祝辞があり、府市場への期待を述べられた。その後、来賓の皆さんの紹介があった。新春を祝い、当市場の発展と出席者の健康を祈念して、山口秀雄・府市場協会副理事長で府市場管理センター（株）社長の発声で、声高らかに乾杯が行われ、祝宴となった。

和やかな雰囲気の中での交歓のあと、中締めとして山地英彦・府中央卸売市場長の発声で万歳三唱を行った。



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会 理事長 三輪 光幸

皆さん、明けましておめでと
うございます。

本日は、大変お忙しい中、ご
来賓の皆様をはじめ多数のご参
加を賜り、新年年賀交歓会を開
催できますことを、心よりお喜
び申し上げる次第でございます。

さて、日本国内では、人口減
少や少子高齢化、食品の安全安
心の追求、さらには物流構造の
変化など、市場をとりまく環境
は大きく変化をしております、今後

も変化のスピードはますます加
速していくものと考えられ、わ
れわれ生鮮食料品を扱う業界に
とりましては、ひととき厳しい
状況が続くものと考えられてお
ります。

一方、昨年末に生鮮食料品
加工食品すべてが軽減税率の対
象になり、生鮮食料品を取り扱
う私も業界にとりましては歡
迎すべきことと考えておりま
す。また、年間2000万人と
いう訪日外国人を取り込んで、
業績の回復を図らなければなら

ないと思います。

このような中で、当市場では、
昨年10月の1カ月間、阪神百貨
店と初めてタイアップし、魚食
のよさを知ってもらおうと、産
地や大学とも連携し、「阪神の
魚食普及月間」イベントを開催
するなど、当市場を産地、量販店、
消費者に着実なアピールを行っ
ているところでございます。

また、11月に開催した市場開
放デーには、これまでにもまし
て多数の来場者があり、当市場
に寄せる府民の関心の高さ、期

待の大きさといったものを感
じたところでございます。関
係の皆様方に厚くお礼申し上
げます。

全国の中央卸売市場で初めて
の指定管理者であります府市場
管理センター株式会社は、山口
社長の下、民間企業の目線で、
迅速に施設の改修などに取り組
んでいただいております。青果棟の
大屋根設置をはじめ、清潔な市
場とするためのセリ場の改修、
トイレの全面リニューアル、ソ
フト面では販促イベントの開催
などにより、大きな成果を収め
ていただいております。お礼申
し上げますとともに、今後とも
大きく期待をしている所ござ
います。



新年のご祝辞

大阪府知事 松井 一郎

新年あけましておめでと
うございます。中央卸売市場関係者
の皆様におかれましては、平成
28年の新しい年の幕開けを健や
かにお迎えになったことと存じ
ます。また、日頃から、府民へ
の生鮮食料品の安定供給に御尽
力いただき、厚くお礼申し上げ
ます。

大阪府知事として二期目の府
政を担当させていただくことに
なりました。二期目のスタート

にあたり、東西二極の一極を担
う大阪の実現をめざし、「副首
都・大阪」の確立を具体的なミツ
ションとして掲げました。大阪
市はもとより府内市町村や経済
界とも力をあわせて、今後の4
年間でその土台を築いてまいり
たいと考えています。

さて、卸売市場をめぐる環
境は、流通構造の変化、消費
者ニーズの多様化など、全国
的に厳しい状況にあります。

このような中で、府市場は、
平成24年に全国に先駆けて指

定管理者制度を導入しました。
指定管理者をお引き受けいた
だいた大阪府中央卸売市場管
理センター株式会社におかれ
ましては、コスト削減や収入
確保に取り組まれるとともに、
大学等と連携したイベント開
催など、生鮮食料品の消費拡
大にも取り組んでこられました
。こうした取組みにより、

市場の集荷力、販売力の向上
に、大きな成果が現われてき
ており、厚くお礼を申し上げ
ます。

今後とも、府市場が生鮮食
料品の流通拠点として、その
機能を十分発揮し、「競争力の
ある市場」が実現するよう取
り組んでまいります。今年、府
市場の経営戦略である『経営
展望』を策定する年にあた
ります。その策定にあたりま
しては、市場のかかえる課題解
決に向けた今後の方向性を盛
り込み、皆様方とともに取り
組んでまいりたいと存じます
ので、より一層の御協力をお
願いいたします。

最後に、本年が皆様にとっ
て実りある素晴らしい年とな
りますようお祈り申し上げます。
して、新年のご挨拶とします。

今後とも、府市場が生鮮食
料品の流通拠点として、その
機能を十分発揮し、「競争力の
ある市場」が実現するよう取
り組んでまいります。今年、府
市場の経営戦略である『経営
展望』を策定する年にあた
ります。その策定にあたりま
しては、市場のかかえる課題解
決に向けた今後の方向性を盛
り込み、皆様方とともに取り
組んでまいりたいと存じます
ので、より一層の御協力をお
願いいたします。

今後とも、府市場が生鮮食
料品の流通拠点として、その
機能を十分発揮し、「競争力の
ある市場」が実現するよう取
り組んでまいります。今年、府
市場の経営戦略である『経営
展望』を策定する年にあた
ります。その策定にあたりま
しては、市場のかかえる課題解
決に向けた今後の方向性を盛
り込み、皆様方とともに取り
組んでまいりたいと存じます
ので、より一層の御協力をお
願いいたします。

〈年賀交歓会より〉



ご祝辞
木本茨木市長



ご祝辞
石川大阪府環境農林水産部長

平成28年につきましても、
関係者の皆様方と一丸となっ
て、当市場のなご一層の発展
に取り組み、スーパーなど買
出人の皆様への期待にこたえる
大阪府市場にしていく所存で
ございます。

関係各位の皆様方にご協力を
いただきながら、大阪府のご指
導のもと、また、府会議員の先
生方、そして国会議員の皆様方
のご協力を得ながら、府市場の
発展に努めていきたいと考えて
いる次第でございます。

本年も皆様方の多大なるご
支援、ご指導を賜りますこと
をお願い申し上げますが、簡
単ではございますが、新年の
ご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場長 山地 英彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成28年の幕開けを健やかに迎えのことと存じます。また、平素は大阪府中央卸売市場の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

5年ぶり、取扱金額は3年ぶりに増加し、昨年度もさらに取扱金額が増大するなど、その成果が現われてきているのではないかと考えております。

昨年度は、「コールドチェーン化」を主要検討テーマに設定し、その成果として、今年度、青果棟の大屋根設置をはじめ、仲卸定温倉庫の整備、さらには、水産セリ場の改修などが、指定管理者の迅速な対応で早期に実現しました。あわせて、市場内の安定的な電力供給を可能とする、我が国最大規模の燃料電池の導入にも取り組んだところであります。

さて、当市場では、平成24年4月から指定管理者制度を導入し、場内業者とともに一体となつて活性化に取り組んでおり、平成25年度において、取扱数量は

しかしながら、卸売市場を取り巻く環境は全国的に厳しい状況が続いており、当市場においてもハード・ソフトの両面から、さらなる活性化に取り組んでまいります。

引き続き、「荷捌スペースの充実」をテーマに、川上・川下から「選ばれる市場」、「物流ハブ」の実現に向け、効果的かつ具体的な方策について議論を重ねて

まず、ハード面については、卸売業者、仲卸組合、冷蔵業者、指定管理者をメンバーとする「競争力強化研究会」を新たに立ち上げ、検討を行っております。

引き続き、「荷捌スペースの充実」をテーマに、川上・川下から「選ばれる市場」、「物流ハブ」の実現に向け、効果的かつ具体的な方策について議論を重ねて

いるところであります。ソフト面では、大阪新阪急ホテルとのコラボ事業やイオン等における「市場まつり」のほか、道頓堀ホテルにおいて外国人観光客をターゲットに出張朝市を実施しました。さらに阪神百貨店梅田本店とタイアップし、大店と協働して、魚食の普及・拡大のための全国初となる一ヶ月にわたる長期コラボイベントを開催しました。こうした取組みは、多くの消費者の方々にも市場をより身近に感じていただく貴重な機会であると考えております。

本年は、新たな「経営展望」の策定、新たな指定管理者の選定が控えております。競争力強化研究会での議論も踏まえつつ、今後の市場の中長期的な取組方

向について、関係各所の皆様方と積極的に意見交換してまいりたいと存じます。一方で、今取り組むべき課題については、指定管理者の協力のもと、量販店やホテル、大学等との連携をさらに深め、ハード・ソフト両面での対応を強化し、目に見える成果を実現してまいりたいと存じます。

本年も市場内業者とともに、安全・安心な生鮮食料品を府民の皆様へ安定供給できるよう、一層努力してまいります。一層努力してまいります。一層努力してまいります。一層努力してまいります。



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会常駐代表者会議議長
大阪府中央卸売市場管理センター(株)代表取締役

山口 秀雄

明けましておめでとうございます。

大阪府中央卸売市場に指定管理者制度が導入され、はや4年目を迎えますが、次々と充実した事業をこなし、市場の目標である「清潔できれいな市場」の実現に取り組んでいるところであり、また、その実績も目に見えるようになって参りました。

こうした仕事振りを思うと、ある業界紙に連載されている市議会での議員の質問に対する職員さんの答弁はいつも「先生の質問は当然ですが我々職員も色々聞きに行ったり勉強し、市場に適した制度であるが、もう少し形を変えた制度はないものか研究しているところですよ」といった様な答弁ばかりで、職員さんの本当の気持ちは自身の保身(少し言葉が失礼かもしれま

せん)が第一と聞こえてなりません。どこの市場も場内業者は経営難・求人難に苦労されている実情を開業者はしっかりと見つけ、業者が商いのしやすい市場を目指して頂くべく、良い制度は積極的に取り入れて、市場が本来果たすべく役割を見つめ直し、その実現に向けて開設者のリーダーシップを大いに望むところであります。

身(少し言葉が失礼かもしれま

その実現に向けて開設者のリーダーシップを大いに望むところであります。

〈年賀交歓会より〉



ご祝辞
原田衆議院議員



乾杯のご発声
山口府市場管理センター(株)社長



万歳のご発声
山地府市場長



新年特集

常駐代表者の皆さんから新年のご挨拶(要旨)



大阪北部中央青果(株)
代表取締役社長 三木 博司

常に新たな提案をし努力

新年を迎えるにあたり、今年の私の青果業界に關係する関心事を申し上げます。円安の行方・外国人旅行者の増加・第十次卸売市場整備基本方針の三点であります。

う一步踏み出すと考えます。景気の回復が、足踏み状態である関西経済へも波及することを期待したいところです。

TPPが発効すると、生の野菜・果物について原則関税撤廃となっております。安価な農産物が輸入され、日本の農業に大きなダメージを与え、消費者の国産志向や出荷時期

のずれ、中国の不参加等、棲み分けはあっても急激な影響は少ないと考えます。

最近、近畿では訪日外国人旅行者が増加し、昨年十月には過去最高であった一昨年の年間旅行者の数を上回りました。全体の消費に占める外国人旅行者の割合はまだまだ小さいですが、今後も伸びしろが大きい分野です。

集荷力強化に向けて



大果大阪青果(株)
専務取締役北部支社長 前田 進

昨年も年間を通じて異常気象の年となり、各産地に於いて大きな被害を受け、農産物を取り巻く情勢は年々厳しさを増しています。

調査の65・8歳から上昇しています。

当社の取引先の状況も年々高齢化が進み現状を維持するのが難しい状況であり、今後国産農産物の生産増は見込めずますます集荷競争は厳しくなると思われますが、食を提

図るべく集荷強化に努めて参ります。

当市場も、昨年管理センターの迅速な対応により、二階大屋根の設置又トイレの全面改修もほぼ終了し清潔な市場となりました。今後も開設者・管理センター・卸売組合との連携を図り、当市場の発展に寄与できるよう努めて参りますのでよろしくお願ひします。



(株)うおいち
常務執行役員北部支社長 小笠原 元功

「集客と発展」

昨年末には、大阪ダブル選挙が行われ新市長、新知事が選出され今迄以上に大阪の活性化や更なる発展を期待します。特に「食」に携わっている関係者としては17年4月か

業界は円安による恩恵をしっかりと受け好成績が続いている様ですが、国内に於ける商品調達が未だに続いています。世界の人口も毎年7千万人も増加している中、地球温暖化も進んでいます。海水温の上昇により漁獲高も減り、漁獲時期も後へ、後へとズレていきます。日本近海の魚も、もつと

入っていると思えます。そして、安定した漁獲ができることを望みます。

とアピールし、集客、集荷に全力を注ぎ市場の発展に努めたいと思ひます。

私も、大阪府中央卸売市場常駐代表者の一員に、また大阪府中央卸売市場管理センター(株)の一員になり10か月になります。当市場がこんな意思想統一が出来ていることに大変驚いております。例を挙げますと①市場の為に意見が多い。②何事も対応が

、



「市場活性化に向けて」

株大 水
執行役員北部支社長 板東 啓三

昨年は、アベノミクス効果により国内景気及び各企業の業績が向上しました。中央卸市場を取り巻く状況にも厳しさの中に光がさしてきていま



府民の信頼と期待に応える流通拠点に

大阪府青果卸売協同組合 理事長 東野 達雄

昨年4月からの消費税8%への引き上げにより個人消費が落ち込み、円安・株高といったものの恩恵がなくアベノミクスの効果が全国に波紋しない中で、景気回復基調の実感とは程遠いものがあります。



物と人を呼び寄せる魅力ある市場を目指して

大阪府水産物卸協同組合 理事長 山口 秀雄

一年は短いようで長くもあり地球規模でいろいろ、様々な予期せぬことが起こりますが、島国という環境にめぐまれてはいるものの日本も少しずつこの渦に巻き込まれていく様に思っています。平和をもっと大事に考えたいものです。

設の改修・修理がなされてきました。市場関係者にとつては、取引関係者に利用しやすいい食の安全・安心を大きくアピールできる環境・条件を整ってきています。北部市場の活性化は、賑わいのある市場作りからと考えております。

卸会社の責務として今年も積極的に集荷・供給に努め、売市場経由の減少などがあり、これまで以上に厳しい経営状況を余儀なくされることになりま

迅速である。③老朽市場設備のリニューアルが早い。④青果2階売り場の大屋根設置。⑤水産場における皆の為のルール作りなど、1つ1つ数えればきりがあります。

私共の消費税増税対策として生活必需品の税率を低く抑えるため「生鮮食料品の軽減税率の適用」と消費税額の表示を「恒久的に外税方式に統一」することについて引き続き取り組む所存であります。

また、卸、仲卸で設立しました大阪府中央卸売市場管理センター(株)では現場に足を運び現場のニーズに応じて小規模な修繕・補修工事を迅速に行う等、開設者との役割分担のもと整備を進めています。

今年も、指定管理者による運営が他市場の市場運営の見本となるよう皆様と行動を共にして行きたいと思っております。

また、卸売市場流通の再構築にも課題があり、多様化する個人消費者のインターネット購入、楽天市場、産地業者のテレビ宣伝等食品の分野も大いに侵略されておりますが、市場の強みは全国各地(世界も含め)の商材が一方所に毎日集荷されている点をもう一度見つめ直し、その存在価値を大いにアピールし、市場に物と、人を呼び寄せる魅力ある市場を目指し、どの市場も苦労されている空き店舗問題、人手不足等の根本的な課題を解決する方法の一つとして、市場の統廃合、拠点

ニーズへの的確な対応・事業者の経営体質の強化・市場の活性化に向けた新たな取組の推進など、全青卸連と連携協力しながら一体となつて市場の活性化を推進して参ります。

本年も市場関係者とともに安全・安心な生鮮食料品の安定供給のため府民の信頼と期待に応える流通拠点としての役割を果たせるよう、より一層努力して参りたいと存じます。

さて市場とて農水省の指導のもと荷動きの活発化、地域市場の活性の為いわゆるハブ市場的な指導で「拠点市場」なる呼称を取扱い数量により指名されましたが3年足らずで解消とその指導の難しさを痛感した所であり

市場を早々と廃案された農水省の早い動きと、実行力でのリーダー的存在になって大きな社会資本である中央市場を良き在り方へ指導をお願いしたく思っている所です。



〈年賀交歓会より〉



会場風景

効率的な運営を目指す

(株)北部冷蔵サービスセンター

代表取締役社長 巽

計廣



昨年は、スポーツ界とくにフィギュアスケート、ワールドカップでのラグビーの活躍、ノーベル賞受賞など明るい話題はあった

昨年、世界中で多発するテロ事件に怯えた年でもありました。また、TPP協定が関係国の間で大筋合意され少なからず水産業界にも影響があるものと思われま

はチャンスロス、お客様には大変御迷惑をおかけするという事態に陥りました。本年は現在受け入れておりま

売場の利便性や快適性の向上を図る

(株)大阪府食品流通センター

代表取締役常務 田中

英治



者の方々の食に関する安心・安全意識が高まる中、食品を取扱う事業者には、常に管理体制が問われており、今までに増して、取扱いに細心の注意を払って

アル工事の着工を計画しております。売場の利便性や快適性の向上を図ることで、お客様に買

株式会社大阪府食品流通センターは、昨年四月に民営化され、大阪府の第三セクターから南海電鉄グループの一企業として再生し、初めての新年を迎えています。当社が引き続き運営いたします加工食品卸売団地を取

り巻く経営環境には、依然として厳しいものがあります。構造的な問題としての「中抜き」といわれる製造業者と小売業者の直接取引の増加や、取引先である小売店舗の減少には、未だ歯止めが効きません。また、消費

の安全が損なわれるかを徹底的に調べることから始めます。最も重要なポイントをチェックすることで、事故を未然に防ぐことができただけでなく、もし事故

衛検査だより

チャレンジ HACCP!!

食品衛生検査所

ます。

このような状況の中、大阪府ではまずHACCPを広く事業者様に周知することと、すでに導入された施設の状況を検証して、義務化に対応できる土壌を作ることを目指しました。

この一月、厚生労働省が食品衛生管理の国際標準であるHACCP(ハザード)の導入を、食品関連企業に対して段階的に義務化する方針であるとのニュースが報道されました。数年後の義務化に向けて着々と準備が進められてい

HACCPとは

- ☆Hazard(ハザード):危害(きがい)
 - ☆Analysis(アナリシス):分析(ぶんせき)
 - ☆Critical(クリティカル):重要(じゅうよう)
 - ☆Control(コントロール):管理(かんり)
 - ☆Point(ポイント):点(場所)(ほしよ)
- それぞれの頭文字(HACCP)を取ったもの
参考:関東信越厚生局HP

HACCPは、宇宙

原因によって製品

HACCP方式と従来方式との違い

従来は製品の抜き取り検査をすることで安全性をチェックしていました。

HACCP方式は原料の受け入れから最終製品までの各工程ごとに発生する汚染や異物の混入などの危険を予測し、危険の防止につながる特に重要なポイントを監視し、記録することにより、製品の安全性を確保する衛生管理手法です。



食品の製造過程を管理するために生まれたHACCPは、

ACCPですが、今では食品の生産から消費に至るまでの、すべての過程でその考え方が応用されています。当所では、HACCPに関する情報や資料を提供しています。まずは知ることから。始めませんか? チャレンジ HACCP!

商売繁盛、笹もってこい! 宝恵がご巡行

1月9日の朝、地元茨木神社・茨木恵美須講の「宝恵かご」練行の場内巡行があり、華やかな舞衣装の福娘5名、紅白の餅花や布で飾られた宝恵かご、太鼓、提灯を担いだ男女衆の二行30名が来場した。

行列は高らかに打ち鳴らされる太鼓に合わせて、「商売繁盛、笹もってこい」の威勢の良い声を響かせながら、青果棟から水産棟、加工団地を巡行。

市場内の卸・仲卸から玉糲料を奉納、福娘から奉納者に福笹が手渡され、今年一年の「招福来幸・商売繁盛」を祈念して一本締めを行った。



栄誉と功績をたたえる

東野達雄氏 旭日双光章 受賞祝賀会

大阪府青果卸売協同組合理事(株)北部ヤング代表取締役(株)全国青果卸売協同組合連合会理事、大阪府中央卸売市場協会副理事長、大阪府中央卸売市場管理センター(株)取締役などを務める東野達雄氏の旭日双光章受賞祝賀会が、1月10日に、大阪中之島のリーガロイヤルホテルで開催され、大阪府、茨木市、全青卸連、近畿地域の青果卸売協同組合代表らを集めて、170人がお祝いに駆けつけ、東野氏の栄誉と功績をたたえた。



祝賀会は、東野氏ご夫妻の入場が始まり、司会者の開会宣言の後、発起人代表の細田喜代司大阪府青果卸売協同組合副理事長が挨拶され、「組合としてもこの上ない喜びであり、大阪府をはじめ関係各位に厚くお礼申し上げます。また、内助の功をもって長年にわたり支

えてこられた奥様をはじめご家族のご苦労に深く敬意を表する」と述べられた。



山地位府市場長



原田衆議院議員



木本茨木市長

次に東野理事長の経歴が紹介され、中学卒業後、親戚の青果卸売会社に就職して仲卸の基礎を学び、33歳で仲卸会社を構えられた。以来、生産者が一生懸命に作ったものを、消費者に安心して大事」との思いで来た昭和53年の大阪府中央卸売市場開



供給から先の値を読む、市場が果たす役割を常に考えておられるとの紹介があった。

来賓祝辞には、開設者の松井二郎大阪府知事の祝辞を山地英彦市場長が代読し、「大阪府青果卸売協同組合の理事長など、その人柄と類まれなる指導力をいかなく発揮され、青果の消費拡大や商品知識の普及啓発はもとより、後進の指

設当初から、大阪府青果卸売協同組合に加入し、様々な活動に参画して、平成22年には理事長に就任。「大阪の天気だけをみてはダメ。生産地の天候は冷夏で収穫量が落ちないか、大雪で道路が寸断されないか、円安で海外に流れないか」とアンテナを張り巡らせ、需要と



導、育成にも積極的に取り組まれ、生鮮食品流通業界の発展に多大な貢献をしてこられた。また、指定管理者として新たに発足した府市場管理センター(株)の取締役として、市場の振興や組合員の取りまとめに尽力された。おかげさまで市場の運営は順調に推移し、市場の活性化も顕著な成果があらわれてきている。今後とも健康に十分留意され、青果卸売業界の発展と卸売市場の活性化にお力を発揮されますようお願いする」と読み上げた。



引き続き、原田憲治衆議院議員からは、「府民にとって大事な市場の活性化にこれからの期待したい」と、増山春行全青果卸売協同組合連合会会長からは、「全青卸連理事として、直面する諸課題に適切な助言とご尽力をいただきたい」と深く感謝申し上げる」と、木本保平茨木市長からは「目利きを選んで消費者に世界一の安全安心を届けてほしい」とのお祝いの言

葉とともに、さらなる活躍を期待するとのこと挨拶があった。ご夫妻にお孫さん二人から花束が贈られると、ご夫妻は満面の笑みをかみしめておられた。東野理事長からご挨拶があり、出席の皆様へのお礼とともに、仲卸業界へ入られるきっかけとなった恩人お二人の話をされ、「今後、後輩の育成に力をそそぎ、府市場の発展に尽くしていきたい」と決意を述べられた。



植田大果大阪青果(株)会長

活気溢れる初市・年賀交歓会!

府市場では、平成28年新春の初市が5日早朝に行われた。4時15分からのマグロの初せりから始まり、4時40分には水産卸の



〈まぐろのセリ〉

〈ちりめんのセリ〉

〈鮮魚のセリ〉

〈果実のセリ〉

〈初荷入荷量〉

のせりと続いた。初市の取扱量は、水産が前年比100.3%、青果が前年比97.7%であった。せり場には、せり前に新年のあいさつを交わした買い手の皆さんが、せり人の掛け声に応える熱気に溢れていた。

	27年		28年	
	数量(トン)	数量(トン)	数量(トン)	前年比
野菜	643	661	102.7%	
果実	188	151	80.4%	
青果計	831	812	97.7%	
生鮮	129	117	90.8%	
冷凍	6	10	155.7%	
加工	64	73	114.2%	
水産計	199	200	100.3%	

茨木神社恵美須社に奉納・祈願

大阪府中央卸売市場協会、府青果卸売協同組合(東野達雄理事長)、府水産物卸協同組合北館会(山口達也会長)は、1月8日に、地元茨木神社・恵美須社へ商売繁盛、招福を願って、青果物と「招福大まぐろ」を奉納した。午前8時に、法被姿の皆さん16人が、奉納品を拜殿に運び込み、神主のお祓いを受けた。奉納の品は、特大の冷凍メバチマグロ(重さ140キロ)、旬のたまねぎ・メークイン・白菜・リンゴ・みかん各5ケース。これらの奉納品は、十日過ぎの期間中の11日まで神殿にお供えされる。特にマグロの頭や



腹にさい銭が見事貼り付けば、その年は「銭が身につく」との縁起があり、大勢の参拝者の人気を集めている。この奉納は、平成20年から毎年実施され今回で9回目。

防災訓練に食材を提供

府市場管理センター

1月17日(日)に、茨木市が市内全域で初めて市民参加型の防災訓練「避難所運営訓練、炊き出し訓練、搬送訓練、情報連携訓練、救護物資輸送訓練など」を実施した。府市場管理センター(株)(山口秀雄社長)は、葦原小学校と中条小学校で行われた炊き出し訓練の食材(野菜)を提供し、全面的に協力した。写真は、自衛隊の「野外炊事1号」車両とカレーの配給を行っているところ。



佐賀県の金賞・銀賞みかん試食会とせり

大果大阪青果の協力で、1月9日の8時30分から果実せり場で、佐賀県広域みかん生産組合品評会で金賞・銀賞に選ばれた金賞・銀賞みかんの展示、試食会、そしてこれに続くせりが行われた。東野青果卸売協同組合理事長の紹介あいさつのち、広域みかん運営委員会の円城寺委員長(写真右二人目)が、「糖度が14度で酸味もよくバランスの取れた本当のおいしさを味わってほしい。」と紹介されていた。参会者は、早速試食し、そのおいしさを実感していた。



◎府市場まつり

◇イオン四條畷店
1月16日に、府市場直送セール(水産物)が開催された。賑わいの中でセリちゃんも活躍。



安全運転講習会にご参加を!

市場協会安全部会(東野達雄部長)では、2月9日火曜日13時から管理棟4階会議室で、茨木警察署交通課から講師を派遣いただき、安全運転講習会を開催する。多くの方のご参加を呼び掛けている。

卸売業者取扱高(平成27年12月) 大阪府中央卸売市場

卸売業者種名	種類	数量(トン)		金額(千円)	
		数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	12,735	104.1	2,452,217	96.2
	果実	6,015	87.5	2,063,285	101.6
	小計	18,750	98.1	4,515,502	98.6
水産物	生鮮水産物	2,285	96.6	2,413,784	96.9
	冷凍水産物	502	90.0	755,364	91.5
	加工水産物	1,416	103.2	1,581,537	101.9
	冷凍食品	440	99.9	247,082	97.9
	小計	4,643	98.0	4,997,767	97.6
卸売業者計		23,393	98.1	9,513,270	98.1

開場日数 平成27・26年12月 25日